

多守利用規約

キー・ポイント株式会社（以下、「運営者」とする）は、多守システム（以下、「サービス」とする）の利用規約を以下の通り定めるものとする。

【 1 . サービス・語句の定義】

多守システムの利用規約（以下、「本規約」とする）における用語を以下の通り定義する。

- (1)多守システムとは、運用者が運用管理する、企業・団体向けに安否確認を行うサービスを指す。
- (2)「会員」とは、運営者が定める諸手続きに従いサービスの全部又は一部を利用する資格を持つ法人、団体を指す。

【 2 . サービスの申し込みおよびサービスの提供の開始について】

（サービスの申し込み）

サービスの申し込み希望者は、本規約に合意した上で、運営者が別途定める手続きに従って、申し込みを行うものとする。

運用者は、本規約を了承された方と本サービスに係る契約（以下「会員契約」といいます）を締結します。会員契約を申し込む場合は本規約に同意のうえ、運営者が別途定める手続きに従って、申し込みを行うものとする。

本サービスの会員契約は、前条に定める方法による申込に対して、運用者が承諾したときに成立します。又、申込の受付を承諾した場合、会員となるものとする。

運営者は、申し込みを行った契約希望者が、以下の各号のいずれかに該当している場合は、当該申し込みを承諾しない場合がある。

- (1) 申し込み内容に虚偽、記入漏れ、誤記があった場合
- (2) 過去に規約違反等により、運営者が提供するサービスの利用資格を取り消されたことがある場合
- (3) その他運営者が、会員として不適切と判断した場合

（サービス提供の開始）

サービスの提供の開始については、運営者がサービスの利用希望を承諾し、サービスの提供の為の当該諸作業が完了の後、会員に対し別途定める方法で通知するものとする。

【 3 . 利用方法】

利用開始については、サービスの提供開始に伴い、必要となるユーザーID、パスワードを別途定める方法で会員に通知された時点から利用可能となる。

【 4 . ユーザーID、パスワード及び当該蓄積情報の管理】

(ユーザーID、パスワードの管理)

運営者は、サービスの提供の開始に伴い、必要となるユーザーID、パスワードを別途定める方法で会員に通知するものとし、会員はその後、ユーザーID、パスワードの管理及び使用について一切の責任を負うものとする。

会員は、自己の責任において、ユーザーID、パスワードを管理しなければならない。

会員は、ユーザーID、パスワードを定期的に変更する等、第三者に不正に利用されることを防止する措置をとらなければならない。

会員は、ユーザーID、パスワードを第三者に貸与、譲渡してはならない。

会員は、ユーザーID、パスワードを使用上の過誤、管理不十分又は第三者による不正使用等に起因して損害を被った場合でも、その管理の責任上、運営者に対し該当損害につき一切の賠償請求を行わないものとする。

また、この場合でも、運営者に重大な過失なくサービスの提供がなされている限りは、サービスの提供料金等の債務の一切は、会員がこれを負担するものとする。

会員は、以下の各号に該当する場合は、速やかに運営者にその旨を連絡し、運営者は、必要に応じて、ユーザーID、パスワードの変更等、出来る限りの措置をとるものとする。

(1)ユーザーID、パスワードを忘れた場合

(2)ユーザーID、パスワードを第三者に利用されたもしくはそのおそれがある場合。

(当該蓄積情報の管理)

会員は、当該蓄積情報について、一切の所有権、管理、責任を担うものとする。

運営者は、サービスの利用に伴い、当該蓄積情報に何らかの破損、紛失があった場合も、会員に対し何ら保証を行わない。

会員は、サービスの利用に伴い、当該蓄積情報については、管理上バックアップを自らの手元に保管するものとする。運営者は、当該蓄積情報の内容の検閲、確認及び第三者への開示を一切行なわない。但し、以下の各号のいずれかに該当する場合はその限りではない。

(1)会員又は公衆の生命、健康、財産等の重大な利益を保護するために必要な場合。

(2)法令に基づく開示請求があった場合。

(3)当該蓄積情報が本規約に定める【禁止事項】に該当する、あるいはそのおそれのある場合。

前号に該当する場合、運営者は、当該蓄積情報の全部又は一部を、会員への事前の通知、承諾なしに、削除及び第三者への開示を含む適当な措置をとることができるものとする。

但し、運営者は、当該蓄積情報が前号に該当するか否かを確認する義務や、当該蓄積情報の削除義務を負うものではない。

当該蓄積情報の利用に関連して、会員が他の会員、第三者又は運営者に対して損害を与えた場合、あるいは会員と他の会員または第三者との間で紛争が生じた場合は、自己の費用と責任において、損害を賠償又はかかる紛争を解決するものとし、運営者に何等の迷惑をかけず、また損害を与えないものとする。

(サービスの提供停止後のデータの管理)

運営者は、サービスの提供停止後に、一切の電子メールアドレス、データ等を消去するものとする。

会員はサービスの提供停止後、いかなる場合も運営者に、データの返還を求めることはできない。

【 5 . 禁止事項】

会員は、以下の行為を行わず、また、会員をして行わせないものとする。

また、運営者は、会員が以下の行為を行うおそれがあると判断した場合、会員の許可なくサービスの提供中止を含め、適切な処置を講ずることができる。

- (1)運営者または他の者の著作権、商標権等の知的財産権を侵害する行為、またはそのおそれのある行為。
 - (2)運営者または他の者を差別、もしくは誹謗中傷、名誉や信用を毀損する行為、またはそのおそれのある行為。
 - (3)運営者または他の者の信用を毀損し、財産を侵害する、不利益を与える行為、またはそのおそれのある行為。
 - (4)公序良俗に反する行為、またはそのおそれのある行為。
 - (5)詐欺等の犯罪に結びつく行為、またはそのおそれのある行為。
 - (6)選挙の事前運動、選挙運動その他公職選挙法に抵触する行為、またはそのおそれのある行為。
 - (7)運営者または他の者のサイトの情報を改ざん、消去する行為、またはそのおそれのある行為。
 - (8)運営者または他の者になりすましてサービスを利用する行為、またはそのおそれのある行為。
 - (9)有害なコンピュータプログラム等の送信、または他の者が受信可能な状態におく行為、またはそのおそれのある行為。
 - (10)運営者または他の者の電子メール受信を妨害する行為、またはそのおそれのある行為。
 - (11)運営者または他の者に対し、無断で広告、宣伝、勧誘、または嫌悪感を抱かせる行為、またはそのおそれのある行為。
 - (12)連鎖的電子メール転送を依頼する行為、またはそのおそれのある行為。
- および当該依頼に応じて転送する行為、またはそのおそれのある行為。

(13)前号のいずれかに該当する行為が閲覧することができるホームページ等へのリンクを貼る行為、またはそのおそれのある行為。

(14)前各号に定める行為を助長する行為、またはそのおそれのある行為。

(15)前号の他、法令、本利用規約に違反する行為、またはそのおそれのある行為。

(16)その他、運営者が不適切と判断する行為、またはそのおそれのある行為。

かかる「行為、またはそのおそれのある行為。」とは、いずれも当該蓄積情報の文書やデータ等を、送信もしくは表示することをさす。

【 6 . 料金およびコースの変更】

本サービスの利用料金は、料金体系ページの料金表によるものとする。運用者は、サービスの料金の計算方法については運用者が別途定める内容に従うものとする。運用者が提供するサービスの課金は、利用期間及び利用会員数に応じた料金体系とする。会員は、本サービスの利用料金を弊社所定の方法により支払を行う。運用者は、会員より支払いを受けた利用料金につき本規約で特段の定めがある場合を除き減額及び返金はしないものとする。

サービスを利用するために必要となる、通信費及び機器等の設備費用、及び利用時に発生する通信費及び機器等の設備費用については、会員がこれを負担するものとする。

(コースの変更)

会員は、運営者が別途定める手続きおよび期日に従って申し出た場合、利用サービスのコースの変更をすることができる。

運営者は、会員に対し、別途定める方法で利用サービスのコースの変更止日時を通知するものとする。

コースの変更により生じた、サービスの料金の差額について、既に支払われた料金については、運営者は一切の返金を行わないものとする。

コースの変更に際した、トラブル、障害については、運営者はこれを一切保証しないものとする。

【 7 . 解約の申し込み及びサービスの提供停止について】

(解約の申し込み)

会員が、サービスの解約を、運営者が別途定める手続きおよび期日に従って申し出た場合、運営者は、会員に対し、電子メールもしくは直接電話にてサービスの提供の停止日時を通知の後、サービスを停止するものとする。

(運営者によるサービスの停止)

運営者は、以下の場合により、会員に通知することなくサービスの提供停止をすることができる。

- (1)現在および過去に、運営者の提供する他のサービス料金の支払が滞っている場合。
- (2)会員の、継続の意思を確認できないまま、契約の期日が満了した場合。
- (3)会員登録の内容に虚偽の申告があった場合。
- (4)過去にサービスの利用資格を取り消されたことがあることが発覚した場合。
- (5)本規約に違反した場合。
- (6)運営者がサービスの提供がふさわしくないと判断した場合。

【 8 . 個人情報の取り扱いについて】

会員は、申し込み手続きにおいて、運営者からの要請に応じて、正確な個人情報を、虚偽なく運営者に提供するものとする。

運営者は、会員の個人情報を尊重すべきものと認識し、適切に利用、管理するものとする。

運営者は、サービス利用者とサービス提供設備との間の通信内容について、SSL (Secure Socket Layer) による暗号化を施すことにより、合理的な範囲で個人情報の漏洩防止に努める。

運営者は、会員から収集した個人情報を、サービスの提供及び業務遂行の為のみに利用し、いかなる場合も会員の合意なしに、かかる会員の個人情報を第三者に提供しないものとする。但し、以下の各号のいずれかに該当する場合はその限りではない。

- (1)会員又は公衆の生命、健康、財産等の重大な利益を保護するために必要な場合
- (2)法令に基づく開示請求があった場合
- (3)当該蓄積情報が本規約に定める【禁止事項】に該当する、あるいはそのおそれのある場合。

前号に該当する場合、運営者は、会員の個人情報の全部又は一部を、会員への事前の通知、承諾なしに、第三者への開示を含む適当な措置をとることができるものとする。

会員は、住所、連絡先、電子メールアドレス等、運営者への諸届出内容に変更があった場合、速やかに運営者が別途定める手続きに従って変更の届出をするものとする。

運営者は、運営者が別途定める手続きに従って会員から各個人情報の変更の届け出があった場合は、すみやかに、情報の変更、更新を行う。なお、届出がなかったことで会員が不利益を被った場合、運営者はその責任から免責される。

【 9 . 個人情報問い合わせ、削除】

本サービスにおける、個人情報の問い合わせ先は、「多守サポート」(sales@key.p.co.jp)とする。

本サービス退会后、不正利用防止の為、一ヶ月間一時停止扱いとし、その後に速やかに削除を行う。

【 10 . 日本国外における利用】

本サービスは、日本国内における利用を前提とする。日本国外での利用も可能ではあるが、利用する場合、会員は利用される国、地域における規制や技術輸出に関する諸法令を遵守することに同意するものとする。

【 11 . 知的財産権】

本サービス、及び当ウェブサイトに掲載される個々の文章、図形、商標、デザイン、ロゴマーク等に関する著作権、商標権並びにその他の知的財産権は、キー・ポイント株式会社に属しているか、もしくは、その使用許諾を得ているものである。

会員は、著作権、商標権並びにその他の知的財産権を侵害しないことに同意する。

【 12 . 免責事項】

運営者は、サービスの提供、継続にあたり、スムーズな運用を心がけ、サービスの提供及び継続に支障の出ないように、最善の努力義務を担うが、障害、停止が生じないことを保証するものではない。

通信回線やコンピュータなどの障害によるシステムの中断、遅滞、中止、データの消失、またはデータへの不正アクセスにより生じた損害、伴う会員に生じた損害については、運営者は一切の責任を負わない。

会員は、サービスの利用に際し、会員と運営者間の通信内容については、運営者が SSL (Secure Socket Layer) による暗号化を施すことにより、合理的な範囲で個人情報の漏洩防止に努めることにより守られるが、万一当該セキュリティ施策にかかわらず、第三者によるクラッキング行為により会員に損害が生じた場合といえどもその責任を負うものではない。

運営者は、会員がサービスの利用にあたって得た情報等の正確性、有用性、特定の目的への適合性等について、保証するものではない。

会員が本規約等に違反したことによって生じた損害については、運営者は一切の責任を負わない。